

# 2012年1月1日～2018年12月31日の間に 岡山大学で法医解剖を受けられた方のご家族の方へ

—「剖検例における覚醒剤の血中濃度と胃内濃度について」へのご協力のお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科法医学分野 客員研究員 吉留 敬  
研究分担者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科法医学分野 教授 宮石 智

## 1. 研究の概要

法医解剖されたご遺体の中で、覚醒剤の使用があった事例について、そのご遺体の血液中と胃内容中の覚醒剤濃度を調べ、それらと、年齢、性別、死因、死後経過時間、胃内容の種類、胃内容の量、との関係について調べます。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2012年1月1日～2018年12月31日の間に岡山大学大学院医歯薬学総合研究科法医学教室で解剖されたご遺体から得られた結果を研究対象とします。

### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2022年12月31日

### 3) 研究方法

上記の研究対象期間に解剖されたご遺体について、そのご遺体の血液中と胃内容中の覚醒剤濃度と、年齢、性別、死因、死後経過時間、胃内容の種類、胃内容の量、との関係について調べます。

### 4) 使用する情報の種類

体内から覚醒剤が検出された法医解剖されたご遺体の、年齢、性別、死因、死後経過時間、胃内容の種類、胃内容の量、血液中の覚醒剤濃度、胃内容中の覚醒剤濃度

### 5) 外部への情報の提供

この研究に使用する情報は、共同研究機関である川崎医科大学と川崎医療福祉大学に提供させていただきます。提供の際には、氏名、生年月日などの、あなたを直ちに特定できる情報は削除し提供させていただきます。

### 6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、岡山大学法医学教室内のパス

ワード等で制御されたコンピューターに保存します。

## 7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2022年10月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 法医学

氏名：吉留 敬

電話：086-462-1111 内線 46123（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-462-1111

E-mail：kei\_y@med.kawasaki-m.ac.jp

### <研究組織>

研究代表機関名 川崎医科大学

研究代表責任者 川崎医科大学 法医学 講師 吉留 敬

共同研究機関

川崎医療福祉大学 保健福祉看護部 保健看護科

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科法医学分野

## 3. 資金と利益相反

本研究は学内研究費を用いて行われます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し適正に管理されています。